

日本宗教学会
第 54 回 学 術 大 会

期 日 1995年11月10日(金)~12(日)

会 場 沖 繩 国 際 大 学

沖繩県宜野湾市宜野湾 276-2

お知らせ・お願い

1. 受付で名札をお受け取り下さい。
2. 受付には学会本部が出張しております。学会費未納の方はお納め下さい。
3. 研究発表者は、なるべく発表の2番前には、その部会会場へおいで下さい。
4. 研究発表は1人15分、質問時間は5分となっております。発表時間の厳守をお願いいたします。
5. 研究発表のレジュメ（表紙・本文）は部会責任者にお渡し下さい。

枚数 400字詰原稿用紙4枚（1600字）程度

締切 大会最終日（11月12日）午後4時30分

（以後の提出、訂正は一切受け付けません）

★タイトルは発表題目と間違わぬようご注意ください。

また、欧文タイトルおよび氏名のアルファベット表記も忘れずにお書き添え下さい。

6. 荷物は所定のクロークをご利用下さい。
7. 喫煙は所定の場所以外ではご遠慮下さい。
8. 会員休憩所に飲み物の用意がしてあります。ご自由にご利用下さい。
9. 大会本部への電話は次の番号をご利用下さい。

098-893-8936（電話・FAX 兼用）

| | |
|----------|---------------|
| 受付 | 5号館 1階 ロビー |
| 会員休憩所 | 5号館 3階 |
| クローク | 5号館 104室 |
| 日本宗教学会本部 | 5号館 4階 (5417) |
| 学術大会本部 | 5号館 4階 (5416) |

日 程

11月10日 (金)

学会賞選考委員会 (本館2階 会議室) 14:00~16:00

公開講演会 (7号館2階 201教室) 15:00~17:00

「中国文化と南島」

東京大学名誉教授、窪 徳忠

理事会 (5号館5階 文学部会議室) 17:30~19:30

11月11日 (土)

開 会 式 (5号館1階 106教室) 9:00~ 9:30

研 究 発 表 (5号館1階・2階・3階) 9:30~12:10

評 議 員 会 (5号館3階 314教室) 12:10~13:30

研 究 発 表 (5号館1階・2階・3階教室) 13:30~16:10

特別公開部会 (5号館1階 106教室) 13:00~16:30

空 手 演 武 (7号館2階 201教室) 16:45~17:15

琉球舞踊鑑賞 (7号館2階 201教室) 17:15~17:45

懇 親 会 (厚生会館4階大ホール) 18:00~20:00

11月12日 (日)

研 究 発 表 (5号館1階・2階・3階教室) 9:00~12:00

評議員選考委員会 (5号館6階 法学部会議室) 12:00~13:30

【宗教研究】編集委員会 (5号館6階 商経学部会議室) 12:00~13:30

研 究 発 表 (5号館1階・2階・3階教室) 13:30~16:30

会 員 総 会 (5号館1階 106教室) 16:40~18:00

閉 会 式 (5号館1階 106教室) 18:00~18:20

第1部会 (5-304)

11月11日(土) 午前(9:30~12:10)

- 1.宇宙創造神話の宗教学的的研究
- 2.古代暦にみる神話的時間認識と神話王権の“歴史”
- 3.光は東方から?—ギリシア神話研究の学説史的再検討—
- 4.神話論への一展望—前近代の神話観を手掛かりに—
- 5.宗教的ヴィジョンと聖なる空間
- 6.宗教体験における聖なるものの弁証法
- 7.初期聖俗論における体験と力の問題
- 8.精霊論

平良 直(筑波大)
笹尾典代(筑波大)
松村一男(天理大)
白山芳太郎(皇学館大)
海山宏之(筑波大)
鶴沢 潔(筑波大)
藤原聖子(東大)
関 一敏(筑波大)

11月11日(土) 午後(1:30~4:10)

- 1.O・F・ボルノーにおける被護性—宗教と教育との関わり—
- 2.救済と教育
- 3.救済宗教と現代社会
- 4.近代日本における宗教と「国家」
- 5.ヒンドゥー教の聖地と神話
- 6.南インド・ヒンドゥー寺院をめぐる訴訟
- 7.社会変動と宗教法
- 8.法と宗教—戦後史における公的・私的宗教—

雨貝行磨(東北学院大)
米沢穂積(嵯峨美術短大)
島 蘭 進(東大)
井 桁 碧(聖心女大)
西尾秀生(近大)
田中雅一(京大)
中濃教篤(日蓮宗現宗研)
井門富二夫(桜美林大)

11月12日(日) 午前(9:00~12:00)

- 1.現代宗教における女性性
- 2.宗教学批判
- 3.ジェンダー・シンボリズムの比較考察—神女と尼僧—
- 4.カトリック修道女の国際比較—日本・ドイツ・オーストラリア—
- 5.楽園とメシアニズム
- 6.信仰共同体における宗教的権威の問題
- 7.現代民衆宗教における聖なる世界の再創造
- 8.ポストコロニアリズムと民衆宗教

薄井篤子(神田外大)
大越愛子(近大)
川橋範子(南山大)
中村恭子(川村学園女大)
竹田洋一郎(筑波大)
三ツ木真弓(筑波大)
谷口智子(筑波大)
荒木美智雄(筑波大)

11月12日(日) 午後(1:30~4:30)

- 1.近代性の理念と宗教概念
- 2.恫喝と救済—宗教の言説構造—
- 3.宗教学の矛盾
- 4.「宗教」概念の意味について
- 5.語り得ぬものの論理分析—平等性智をめぐって—
- 6.宗教学と宗教哲学
- 7.宗教類型論について
- 8.G.ヴァン・デル・レーウにおける生と宗教

飯田篤司(東大)
門馬幸夫(駿河台大)
島田裕巳(日本女大)
尾崎 誠(山陽学園大)
木村俊彦(四天王寺国際仏教大)
小田淑子(京都女大)
吉津宜英(駒大)
華園聰磨(東北大)

第2部会 (5-305)

11月11日(土) 午前(9:30~12:10)

1. ソクラテスと魂の不死
2. プラトン『プロタゴラス』篇におけるミュートスについて
3. プラトンと密儀
4. 十七世紀「理神論」前史の底流—フランスにおける懐疑論の流行—
5. 啓蒙かイロニーか—宗教と批判的思考のモチーフ—
6. 可能世界とキリスト教—A・プランティンガの宗教哲学—
7. 八木誠一における「統合論」の検討
8. 「キリスト教とヨーロッパ」と宗教対話

浜崎盛康(琉球大)
和田義浩(早大)
澤田隆幸(道都大)
玉井実(東京工芸大)
深澤英隆(一橋大)
星川啓慈(大正大)
土井洋(大正大)
高田信良(龍大)

11月11日(土) 午後(1:30~4:10)

1. 人間と悪—マルティン・ブーバーの視点—
2. ニヒリズムと教育愛—意味回復への教育—
3. ニーチェにおける〈宗教〉について
4. 《人間学》としてのドイツ・イデアリスムス
5. ヘーゲルとエティンガー—連関の可能性—
6. ヘーゲル『宗教哲学』における宗教の概念
7. 後期シェリング哲学における悪の克服について

大川武雄(早大)
右山忠史(大阪体大)
竹村香織(早大)
掛川富康(茨城キリスト教大)
中島秀憲(九州産大)
八田隆司(明大)
諸岡道比古(弘前大)

11月12日(日) 午前(9:10~12:00)

1. 自然科学とメタ論理学
2. モンテーニュにおける自然の概念
3. 環境エトスと宗教学—「自然」理解をめぐる—
4. 後期西田哲学と20世紀初頭の経験科学のパラダイムシフト
5. 西田とブーバーにおける「人格」の意義
6. 田辺哲学のパウロ論再考—終末観と倫理をめぐる—
7. 波多野精一における自己と他者
8. 覚と他者

今井尚生(京大)
戸島貴代志(福井高専)
岡野治子(実践女大)
森本聡(近大)
中山一萱(京都産大)
水見潔(奈良県立商科大)
安藤恵崇(高知大)
土井道子

11月12日(日) 午後(1:30~4:30)

1. ベルクソン哲学における真理の概念
2. ベルクソンにおける努力と宗教
3. シューラーのフッサール理解について
4. S・キルケゴールにおける「たとえ話」の機能について
5. A・ショーペンハウアーにおける「不死性」の問題
6. ヴィトゲンシュタインにおけるショーペンハウアー哲学の影響
7. T・H・ハクスリの“Agnosticism”
8. 信仰における直観と言語

森田恭子(京都コンピュータ学院)
岩田文昭(大阪教大)
宮崎真矢(東北大)
平林孝裕(日本学術振興会)
高橋陽一郎(日大)
白木悦生(大正大)
酒井サヤカ(日本歯科大)
澤井義次(天理大)

第3部会 (5-309)

11月11日(土) 午前(9:30~12:10)

1. ハシディズムとハスカラー
2. 「存在」について—ティリッヒ『組織神学』—
3. ティリッヒにおける存在論と象徴
4. バルト神学の三位一体論をめぐって
5. 現代神学における自然神学の意義—バルトとティリッヒ—
6. ロゴスとカラーム—聖典の言葉に関する—考察—
7. シーア派資料における諸宗教の対論
8. 現代イスラム思潮の一側面

黒川知文(東京基督教大)
日下部哲夫(戸板女短大)
山中利美(三重大)
佐々木 徹(シオン短大)
芦名定道(京大)
塩尻和子(日大)
鎌田 繁(東大)
中村廣治郎(東大)

11月11日(土) 午後(1:30~4:10)

1. ドイツ敬虔主義と「規範」をめぐる問題
2. C・シュヴェンクフェルトにおける黙示録的諸観念
3. バーゼル・ミッションにおける教会闘争の問題
4. メキシコのプロテスタンティズム
5. 大主教ニコライの日本理解—啓蒙礼儀を中心に—
6. ザビエルの薩摩布教と市来集団—ドン・ミゲルの役割について—
7. カクレキリシタンのお授けについて
8. キリシタン殉教者石垣永將の周辺事情について

蝶野立彦(早大)
木塚隆志(日本学術振興会)
横手征彦
大久保教宏(東大)
尾田泰彦
岸野 久(桐朋学園大)
宮崎賢太郎(長崎純心大)
青山 玄(南山大)

11月12日(日) 午前(9:00~12:00)

1. ゴロアスター教徒パーシーの救いについて
2. 古代東地中海都市国家の儀礼と王権
3. 古代ローマの宗教について
4. 「イエスの祈り」の起源について
5. 聖書の贖罪精神と受容の一考察—新英語聖書の翻訳を中心として—
6. Mk 3, 28-29に関する—考察—
7. 社会の聖性をめぐる聖書の二類型
8. 教典とファンダメンタリズム

中別府温和(宮崎公大)
高井啓介(東大)
小堀馨子(東大)
久松英二(南山大)
木原範恭(近大)
江川 憲(南山大)
市川 裕(東大)
土屋 博(北大)

11月12日(日) 午前(1:30~4:30)

1. アウグスティヌスにおける「創造」についての—考察—
2. トマス・アキナスにおける神の名について
3. 合一の「人称」—十字架のヨハネによる神秘的合一論の一極点—
4. ル・フォールにおける「言葉」
5. マクマスター大学の成立にみるカナダ・バプテストの政教関係観
6. カトリック教会の教書にみる「開発」の問題
7. 秘跡的現実—そのカトリック的理解—
8. ルルド巡礼の現在
9. メキシコ・トラホムルコのカトリシズムの研究

菊地伸二(柳城女短大)
酒井紀幸(早大)
鶴岡賀雄(工学院大)
八木 博(山梨大)
高嶋祐一郎(西南学院大)
小林紀由(日大)
中野正勝(英知大)
寺戸淳子(日本学術振興会)
野村暢清(久留米大)

第4部会 (5-208)

11月11日(土) 午前(9:30~12:10)

1. 『阿毘曇心論』「業品」における無漏戒律儀について
2. Nārāyaṇīya-parvaにおけるEkātinについて
3. Vajrabodhiの密教体系
4. 唯識無境と相違識相智について
5. 中国における受戒の意味
6. 鳩摩羅什訳『維摩詰所説經』について
7. 精神性(caitanya)考

智谷公和(崇徳高)
關戸法夫(東方研究会)
杉木恒彦(東大)
菊地哲(大谷大)
永井政之(駒大)
環榮賢
村上真完(東北大)

11月11日(土) 午後(1:30~4:10)

1. 吉蔵の『成実論』批判について
2. 善導の如来蔵思想批判について
3. 仏典に於ける北魏の法難
4. 善導の二河白道の喩えと鎌倉浄土教
5. 陀羅尼理論形成の源流について
6. 『法顕伝』第4章マトゥラー国の条
7. ヨーガ行法における坐法について—坐法から三昧へ—
8. 律蔵における破僧と部派分裂

沼アキモツヒロ(駒大)
秦治人(大谷女大)
春本秀雄(大正大)
廣川堯敏(大正大)
北條賢三(大正大)
阿部慈園(明大)
番場裕之(東洋大)
森章司(東洋大)

11月12日(日) 午前(9:00~12:00)

1. バルトリハリのāgama論
2. 中国訳経史研究序説—数理文献学的方法による訳者の推定—
3. 戒禁取見をめぐる諸問題
4. 『瑜伽論』の種姓論—不定種姓を中心として—
5. 聖火壇と仏塔
6. シャンカラの『バガヴァッドギーター註』における知識と行為
7. スカーヴァティー—世自在の図像的特徴—
8. 中観派におけるparapañcaの思想的位置
9. 近代インドにおける仏教復興運動の意義—文芸運動を通して—

畝部俊也(大谷大)
後藤義乗
遠藤信一(東洋大)
齋藤龍裕(立正大)
杉本卓洲(金沢大)
高木健翁(東洋大)
佐久間留理子(東方研究会)
加藤均(大阪外大)
彦坂周(アジア文化研)

11月12日(日) 午後(1:30~4:30)

1. 十六卷本『佛名經』について
2. 後期ジャイナ教における認識の構造
3. 『グフヤタントラ』の諸問題
4. 四不可思議考
5. シャーンティデーヴァの宗教思想
6. 初期仏教教団と外教
7. 初期ヴァイシェシカ学派におけるアートマンの存在証明

真柄和人(佛教大)
佐藤宏宗(大谷大)
福田亮成(大正大)
向井亮(北海道武蔵女短大)
斎藤明(三重大)
茨田道俊(東方研究会)
狩野恭(神戸女大)

第5部会 (5-209)

11月11日(土) 午前(9:30~12:10)

- | | |
|------------------------------|-------------------|
| 1.法然上人靈跡第二十一番大原勝林院について | 山本博子(佛教大) |
| 2.国家と専修念仏—『興福寺奏状』と『延暦寺奏状』から— | 城福雅伸(龍大) |
| 3.『唯信抄文意』諸本の声点表記について | 金信昌樹(龍大) |
| 4.真宗における自然法爾の研究 | 塚田博教(龍大) |
| 5.『唯信抄文意』改訂の考察 | 御手洗隆明(大谷大) |
| 6.歎異抄における攝取不捨の利益の問題 | 西田真因(真宗大谷派教学研) |
| 7.『三部經大意』と『登山状』 | 那須一雄(浄土真宗本願寺派教学研) |
| 8.『教行信証』信書類と『御文章』 | 徳永大信(九州龍谷短大) |

11月11日(土) 午後(1:30~4:10)

- | | |
|---------------------------------|----------------|
| 1.近代における伝記と共同体—真宗教団と妙好人伝を手がかりに— | 黒崎浩行(大正大) |
| 2.願生浄土 | 西坂孝介(大谷大) |
| 3.他利利他の深義 | 緒方義英(龍大) |
| 4.中世真宗の教団教学形成のエートス | 本多静芳(武蔵野女大) |
| 5.親鸞における二種深信の考察 | 大神栄治(大谷大) |
| 6.宗教の本質から見た親鸞と清沢満之の同一性 | 松岡雅則(大谷大) |
| 7.阿弥陀仏・善導・法然同格論 | 永井隆正(知恩院浄土宗学研) |
| 8.『大無量寿經』にみられる「一生補処」の菩薩について | 奈良弘元(日大) |

11月12日(日) 午前(9:00~12:00)

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1.大山崎大念寺来迎仏像の胎内經典について | 中西随功(西山短大) |
| 2.顕彰隱蜜義考—親鸞思想における特殊と普遍— | 嵩満也(龍大) |
| 3.山寺・夜行念仏について | 渡辺喜勝(東北大) |
| 4.島地黙雷の真宗理解 | 野世英水(龍大) |
| 5.親鸞の仏道における救済と覚醒 | 延塚知道(大谷大) |
| 6.中世における草木成仏観について | 萩山深良(旭川大) |
| 7.浄三業について | 佐藤正伸(高野山大) |

11月12日(日) 午後(1:30~4:30)

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| 1.『選択集』と『摧邪輪』—念仏観を中心として— | 安藤文雄(大谷大) |
| 2.自覚自証の仏道—親鸞開頭の仏道の積極性— | 藤原正寿(真宗大谷派教学研) |
| 3.親鸞の第十七願観 | 貫名讓(龍大) |
| 4.『教行信証』行巻における行 | 玉木興慈(龍大) |
| 5.熊野那智山の本願寺院 | 根井浄(神戸常盤短大) |
| 6.親鸞における第二十願の機の考察 | 平原晃宗(大谷大) |
| 7.出世本懐論—存覚を中心として— | 青山法城(浄土真宗本願寺派教学研) |
| 8.蓮如の死生観 | 吉田宗男(大谷大) |

第6部会 (5-204)

11月11日(土) 午前(9:30~12~10)

- | | |
|-----------------------------------|--------------|
| 1. 来馬琢道の寺院活動—近代曹洞宗の一断面— | 熊本英人(曹洞宗宗学研) |
| 2. 道元の心常相減論批判に関する一視点 | 何燕生(東北大) |
| 3. 『正法眼蔵』における枯木について | 栗谷良道(曹洞宗宗学研) |
| 4. 道元教説における「捨」について | 岡島秀隆(愛知学院短大) |
| 5. 道元・瑩山両禅師の「同時成道」観について | 青龍宗二(駒大) |
| 6. 日本中世仏教における釈迦信仰の系譜—穢土成仏説の周辺— | 石川力山(駒大) |
| 7. 道元伝における天童山の「開堂演法」に関して | 吉田道興(愛知学院大) |
| 8. 『禅源諸詮集都序』の頓悟漸修説—「浄染十重図」を中心として— | 石井修道(駒大) |

11月11日(土) 午後(1:30~4:10)

- | | |
|-----------------------------|--------------|
| 1. 鎮火祭祝詞をめぐって | 白江恒夫(芦屋大) |
| 2. 吉田兼俱の神代卷講釈について | 田辺建治郎 |
| 3. 「国家神道」再考—宗教の戦争責任をどう考えるか— | 菱木政晴(西山短大) |
| 4. 正親町神道—思想と社会— | 磯前順一(東大) |
| 5. 後期国学の他界論 | 遠藤潤(日本学術振興会) |
| 6. 神主の日常生活—近世氷川神社を巡る考察— | 海上直士(成蹊大) |
| 7. 院政期大元帥法の相承について | 東館紹見(大谷大) |
| 8. 鎌倉幕府とその宗教政策 | 小林正博(東洋哲学研) |

11月12日(日) 午前(9:00~12:00)

- | | |
|--------------------------------|------------|
| 1. 鈴木大拙の「我観浄土」考について | 和田真二 |
| 2. 鈴木大拙の「日本的靈性」と盤珪の「靈明なもの」について | 新保哲(姫路独協大) |
| 3. 禅思想史上における因果と仏行の問題 | 原田弘道(駒大) |
| 4. 安国院日講の『録内啓蒙』における本門三妙 | 田村完爾(立正大) |
| 5. 日蓮の「鏡」の思想 | 三輪是法(立正大) |
| 6. 日蓮宗従軍僧についての一考察 | 安中尚史(立正大) |
| 7. 日蓮の宗教における罪の根源性について | 原愼定(立正大) |
| 8. 日蓮教学における儒教について | 北川前肇(立正大) |

11月12日(日) 午後(1:30~4:30)

- | | |
|-------------------------------|--------------|
| 1. 日蓮誕生の宗教人類学的分析 | 大久保雅行(久留米大) |
| 2. 日蓮遺文と注法華經の関連 | 関戸堯海(身延山大) |
| 3. 日蓮聖人における上行自覚の表明 | 庵谷行亨(立正大) |
| 4. 無我の一考察 | 小林守(東方研究会) |
| 5. 臨終における夢定 | 神居文彰(大正大) |
| 6. チベットにおける仏教発展の一考察 | 則武海源(立正大) |
| 7. 中央チベットの民話に現れた宗教観 | 梶濱亮俊(摂南大) |
| 8. チベット語訳の本生経類に関する一考察 | 三谷真澄(龍大) |
| 9. 他空説の一断面—ニャオン著『現観莊嚴論註』を中心に— | 谷口富士夫(名古屋女大) |

第7部会 (5-203)

11月11日(土) 午前(9:30~12:10)

- 1.フロイトとポスト・ユンギアン—自己概念と関係倫理—
- 2.フロイトの宗教史構想
- 3.フロイトのアルケオロジ—起源への遡及と起源の解体—
- 4.W・ジェイムズにおける宗教的真理の問題
- 5.デュルケムの先行者としてのヴントとフェステル
- 6.チャールズ・グロックの相対的剥奪理論再考
- 7.身体感覚と宗教的体験—精神医学の視点から—
- 8.大伴旅人と山上憶良—一度生れ型と二度生れ型

- 葛西賢太(東大)
堀江宗正(東大)
安藤泰至(米子高専)
冲永宜司(京大)
宇都宮輝夫(北大)
三木英(英知大)
大宮司信(北大)
谷口茂(明治学院大)

11月11日(土) 午後(1:30~4:10)

- 1.崇りの一様相
- 2.「もり供養」の寺院行事化
- 3.霊験譚の一考察—『靈異記』から『今昔』へ—
- 4.近事・近住と形同沙弥・法同沙弥—叡尊教団における九衆—
- 5.『不空三蔵表制集』の伝本をめぐって
- 6.沖繩梵字金石文の研究
- 7.大和民族宗教原始造化三神産声教創唱観について
- 8.舜典に見ゆ、原初宗教の理念志向

- 米井輝圭(東大)
鈴木岩弓(東北大)
茂木秀淳(信州大)
養輪顕量(大倉精神文化研)
武内孝善(高野山大)
齋藤彦松(梵字資料研)
宮田十寸穂
栗原圭介(大東文化大)

11月12日(日) 午前(9:00~12:00)

- 1.明治期八重山の陰陽道系知識—『大雑書廣集』の分析—
- 2.陰陽道と暦
- 3.日本における風水の受容について
- 4.奄美における憑依神格の外在化と内在化の相克
- 5.慶良間阿嘉のうたき信仰—のろ—
- 6.シャーマンのイニシエーションと夢—新潟市の事例から—
- 7.シャーマンと神父—インカルチュレーションをめぐる協調と葛藤—
- 8.台湾のタンキーの成巫過程の一考察
- 9.タイ・バンコク周辺地域における霊能者(khon song)について

- 小池淳一(弘前大)
林淳(愛知学院大)
鈴木一馨(東方研究会)
森雅文(立教大)
玉置長衛(天理大)
佐藤憲昭(駒大)
中牧弘允(国立民博)
藤崎康彦(跡見学園女大)
佐々木宏幹(駒大)

11月12日(日) 午後(1:30~4:30)

- 1.『宗教経験の基礎的構造』をめぐって
- 2.一在愛について
- 3.罪意識と相互主観性
- 4.宗教的客体考
- 5.日本人と「時」—「今は昔」の表現について—
- 6.ヴィヴェーカーナンダの「普遍宗教」について
- 7.聖者崇拜のインドと日本の比較研究
- 8.M・K・ガンディーとM・L・キング、マルコム X

- 長谷武久(大正大)
小坂国継(日大)
竹原弘(徳山大)
鈴木格禅(駒大)
神原和子(東京工芸大)
堀内みどり(天理大)
保坂俊司(麗沢大)
葛西實(ICU)

第8部会 (5-107)

11月11日(土) 午前(9:30~12:10)

- | | |
|--------------------------------|------------|
| 1. 円測の『解深密経疏』における八識の研究 | 徐 徳仙(立正大) |
| 2. 済州抗日運動と仏教 | 李 乾熙 |
| 3. 現代韓国の〈檀君〉と〈ハナニム〉—韓民族の神をめぐる— | 淵上恭子(南山大) |
| 4. ムーダンと教祖の間 | 丹羽 泉(東京外大) |
| 5. 墳墓と風水信仰—朝鮮時代を中心として— | 金 永晃(大正大) |
| 6. 中国延辺朝鮮族における治癒師—朝鮮巫俗から気功師へ— | 川上新二 |
| 7. 上海における道観の現況 | 芦名裕子(亜細亜大) |
| 8. 王充の祭祀観について | 清水浩子(大正大) |

11月11日(土) 午後(1:30~4:10)

- | | |
|----------------------------------|----------------|
| 1. キリスト教から見たバタックの宗教 | 山本春樹(天理大) |
| 2. 開発と宗教伝統—東北タイにおける開発僧の実践を事例として— | 櫻井義秀(北大) |
| 3. タイ仏教の日常生活と経済発展 | 坂本 進(アサンプション大) |
| 4. スリランカの「アランニャ」 | 高橋 渉(宮城学院女大) |
| 5. アマラプラ派の成立 | 橋堂正弘(椋山女子学園大) |

11月12日(日) 午前(9:00~12:00)

- | | |
|--------------------------|-----------------|
| 1. 生活組織としての宗教 | 松井圭介(筑波大) |
| 2. 「水子供養」の発生 | 鳥井由紀子(東海大) |
| 3. アジアの中の『日本霊異記』 | 多田伊織(日文研) |
| 4. 民俗学と民俗主義の間—親密な記憶について— | 津城寛文(城西国際大) |
| 5. 我が国の姥神信仰について | 菊池 武(稲波市立散村地域研) |
| 6. 秋葉信仰における信仰対象の一例について | 渡部正英(駒大) |
| 7. 柳田国男の氏神信仰論における神観念の問題 | 川田 稔(日本福祉大) |

11月12日(日) 午後(1:30~4:30)

- | | |
|---------------------------------|-------------|
| 1. 高野山における大名墓の建立 | 日野西眞定(高野山大) |
| 2. キリスト教信徒と墓地—日本キリスト教団の事例による考察— | 川又俊則(成城大) |
| 3. 新聞投稿にみる現代人の葬儀観 | 村上興匡(文化庁) |
| 4. 葬送の自由—家族関係の変化を通して— | 本林靖久(立命館大) |
| 5. テラモトシントの村落と家族 | 古賀和則(龍大) |
| 6. 屋久島の風土祭祀 | 藺田 稔(京大) |
| 7. 箱根観音の媽祖祭り | 窪 徳忠 |

第9部会 (5-106)

11月11日(土) 午前(9:30~12:10)

1. 宮沢賢治と法華一乗
2. 清沢満之の「社会」認識
3. 日本近代における心身実践とその思想的背景—霊術から気功へ—
4. 日本の近代における「宗教」と「道」
5. 仏教におけるターミナル・ケアの問題点—仏教の安心—
6. 真如苑信者の平和意識
7. 森田療法と宗教病理
8. 近代イデオロギーと仏教—日蓮系教団を中心として—

新井野洋子(立正大)
守屋友江(明治学院大)
前川理子(東大)
福嶋信吉(東大)
皆川広義(駒大)
ロバート・キサラ(南山大)
西村康(国立精神神経センター)
笠井正弘(西日本短大)

11月12日(日) 午前(9:00~12:00)

1. 現代日本における占いと信仰
2. 《モダン/ポストモダン》による幸福の科学の考察
3. 入信行為に対する商品経済学的—考察
4. 北米における禅センターの変遷
5. 「カルト」という問題—現代社会における宗教と家族—
6. 新宗教研究の今日的課題—日系新宗教を手がかりとして—
7. 台湾における日系新宗教の活動とその背景
8. ウェストバージニア州におけるスネイク・ハンドリングについて
9. アメリカにおけるカルト問題

鈴木健太郎(東大)
清家久美(九大)
深水顕真(九大)
浅井宣亮(愛知学院大)
宮本要太郎(筑波大)
樫尾直樹(東京外大)
藤井健志(東京学芸大)
山中弘(愛知学院大)
中野毅(創価大)

11月12日(日) 午後(1:30~4:30)

1. 能楽と祭儀との再会—大本教における謡曲『西王母』の場合—
2. 大本における二人のカリスマ的指導者について
3. オウム真理教の修行体験
4. 大本教とオウム真理教との間
5. 大本弾圧事件—第一次・第二次事件とオウムの対比—

永原順子(京大)
長崎誠人(京大)
尾堂修司(九大)
池田昭(中京大)
出口榮二

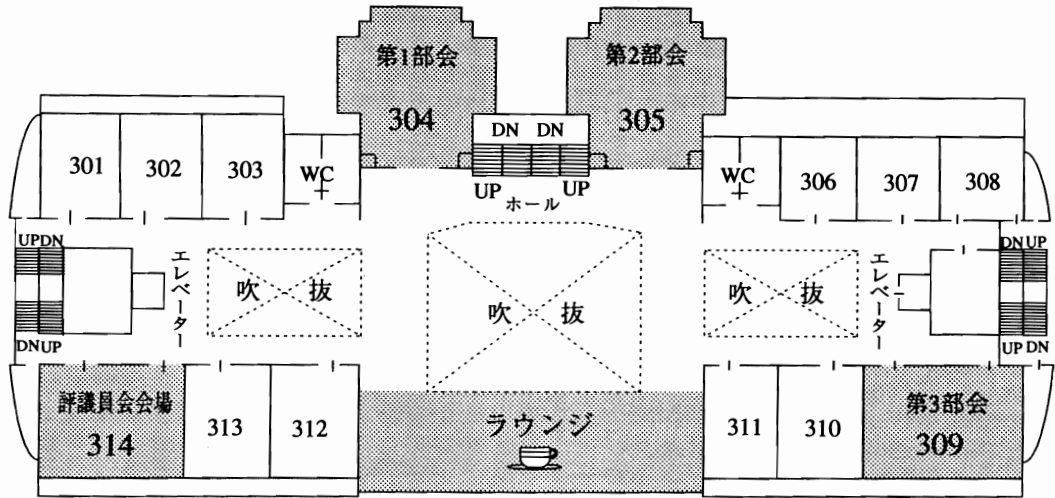
特別公開部会 (5-106)

11月11日(土) 午後(1:00~4:30)

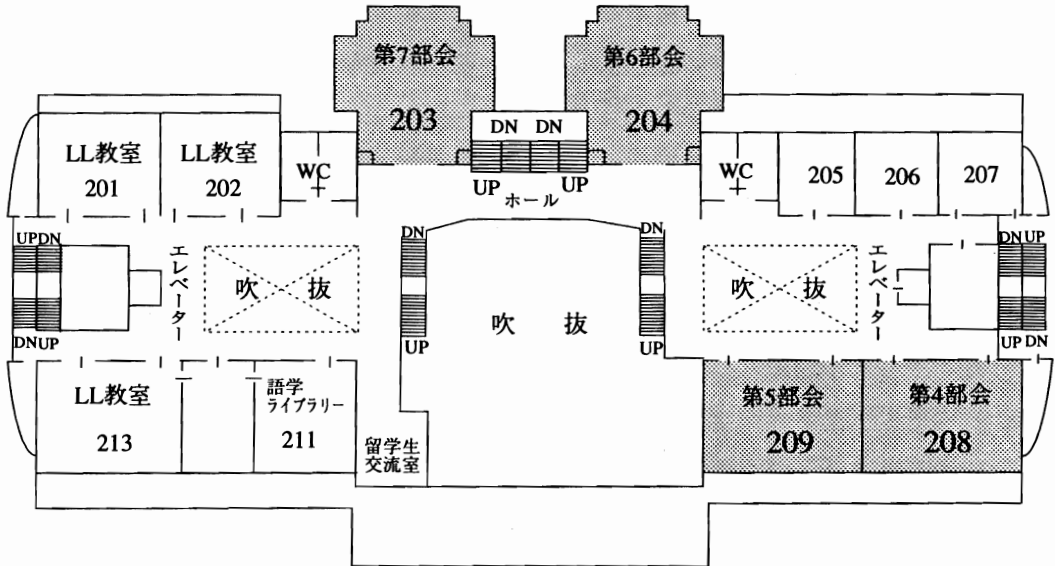
1. 現代沖縄における既成仏教の活動について
2. 「首里十二ヶ所廻り」にみる宗教の重層構造
3. 沖縄の新宗教—「いじゅん」の事例から—
4. 民俗宗教からキリスト教へ—ある福音派教会の成立と発展—
5. 現代沖縄におけるキリスト教聖霊運動の展開
6. 沖縄社会における創造される祖先の問題
7. 八重山における祭司制の動揺と民間宗教機能の変容

長谷部八朗(駒大)
稲福みき子(沖国大)
島村恭則(杏林大)
小川順敬(駒大)
池上良正(筑波大)
安達義博(久留米大)
櫻井徳太郎

5号館会場配置図

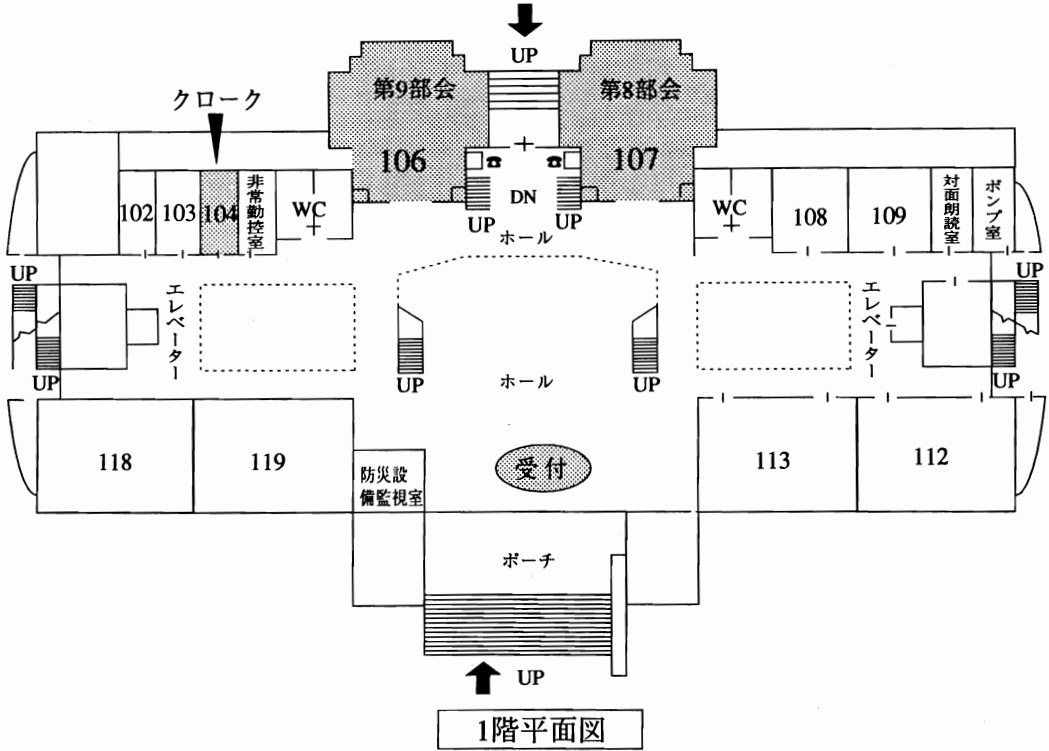


3階平面図



2階平面図

5 号 館



メモ

琉大線 那覇バスターミナル出発、那覇国際通り・バイパス経由の琉球バス98番は沖縄国際大学前で下車します。

知花線 琉球バス90番はバイパス経由、長田バス停で下車、沖縄国際大学まで徒歩10分です。

屋慶名線 沖縄バス27番・琉球バス27番は、宜野湾市大謝名経由、那覇交通26番は首里経由。長田バス停で下車、沖縄国際大学まで徒歩10分です。

石川線 那覇交通25番は首里経由、長田バス停で下車、沖縄国際大学まで徒歩10分です。

